

【レッツチャレンジN I E 中学生】記事を読んで考えるワークシート

記事を読んで下の問いに答えましょう。

ハンセン病回復者支援へ

協議会初代会 部会設置で取り組み

ハンセン病回復者への偏見や差別のない社会をつくるため、ハンセン病回復者や療養所、支援団体、県、専門家が一堂に会した県ハンセン病問題解決推進協議会（会長・森川恭剛琉球大人文社会学部教授）の初代会が5日、県庁で開かれた。

ハンセン病に関する法への支援不足などが報告の施行や国家賠償訴訟などで当事者が勝訴した後、迅速に問題解決に取り組むことが確認された。

沖縄ハンセン病回復者の会の神谷正和さん(71)や知念正勝さん(88)は、協議会設立を「歴史的な出来事」と評価する一方、「時間との闘い。本気で取り組むことを期待する」と語った。

ハンセン病と人権市民ネットワーク宮古の亀濱玲子共同代表は、支援が離島に行き届かない課題や後遺症による介護認定の促進を求め、会議に参加した厚労省難病対策課に現地調査を要望した。当事者家族は、学校でいじめを受けた経験から、教育現場での啓発を強く求めた。

一方で、当事者が差別を恐れ支援を申し出ることができず情報が把握できない課題も議論された。知念さんは「足を運んで関係性を築き、暮らしの困りごとや個々の問題を把握する優しさが必要」と訴え、関係機関による積極的な働きかけを求めた。

社会復帰を目的に、国が退所者に生活費を支給する「退所者給与金」の受給者は、2022年4月1日現在、沖縄県は403人と全国最多となっている。（嘉陽拓也）



初代会でハンセン病回復者が差別や偏見なく地域社会で暮らせるよう訴える神谷正和さん（右から2人目） 11月5日、県庁

琉球新報2022年9月6日付26面

【1】「偏見」と「差別」の対義語はどのような言葉でしょうか。

偏見⇔〔中立 〕、差別⇔〔 公平・平等 〕

【2】沖縄にはハンセン病療養所が2カ所あります。名前と所在地を書きましょう。

（ 沖縄愛楽園・名護市 ）（ 宮古南静園・宮古島市 ）

【3】ハンセン病回復者が偏見や差別を受けてきた背景には、どのような謝った認識があったからですか。調べて答えましょう。例：ハンセン病が感染症であることが国際的に認められると、日本政府は、法律を定め、療養所に患者を隔離しました。患者を強制的に隔離するという政策を行い、ハンセン病は「とても怖い恐ろしい病気である」という謝った認識を人々に植え付けてしまいました。治療薬が使用されるようになって、差別は続きました。

【4】ハンセン病当事者の家族はどのような経験をしたと記事に書いていますか。

学校でのいじめ

【5】問4の課題を解決するために、どのようなことが必要だと書いていますか。

教育現場での啓発

発展問題 知念さんが最後に「優しさが必要」と述べていますが、あなたができる「優しさ」を考えて書いてみましょう。ヒント：行政ができること、地域がすべきこと、私たち一人一人ができることを体系的に考えて、小さな一つを考えてみましょう。